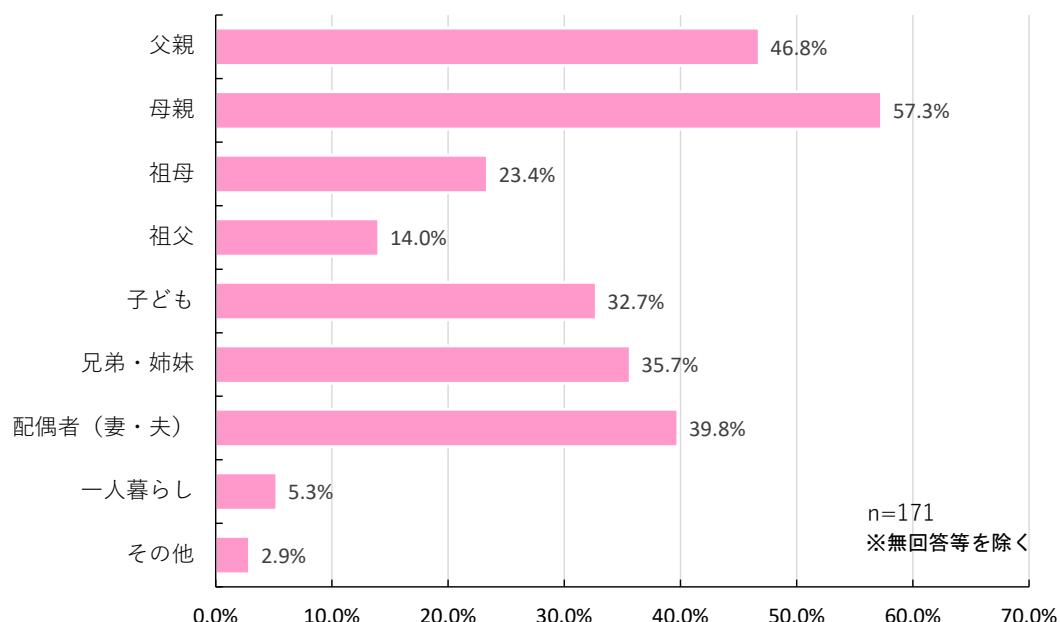


若者アンケート集計結果

調査対象者	16歳～39歳
調査日	令和6年3月5日（火）～15日（金）
調査基準日	令和6年3月31日現在
配布方法	住民基本台帳から抽出、郵送
回収方法	Web回収
回収数	174
回収率	17.4%

問1 ご家族の基本情報**問1 現在、あなたと同居している方を教えてください。(あてはまるものすべて選択)**

○同居者がいる若者の中では、両親（父親・母親）と同居している場合が多く、次いで配偶者と同居している傾向にある。

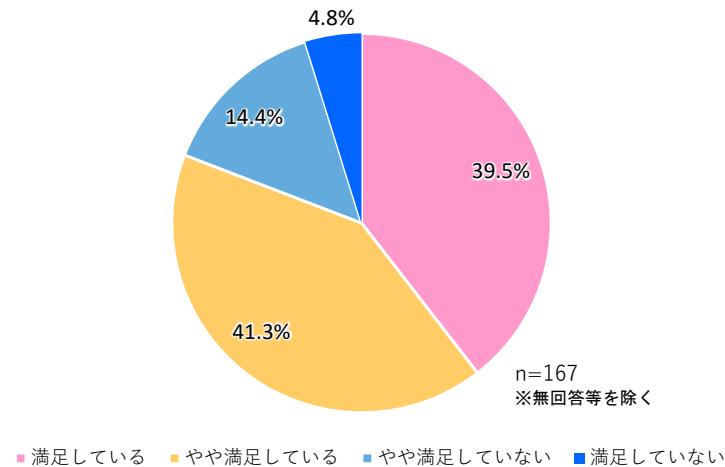
【グラフ】

問2 こども大綱における目標・指標の達成度

問2-1-1 あなたは、現在の自分自身の生活に満足していますか。(1つを選択)

- 現在の生活にやや満足していると回答した人の割合が最も多く、全体の39.5%を占める。
- 回答者のうち 80.8%が自分自身の生活に満足している意向となった一方で、現在の生活に満足していない傾向にある回答者が2割弱存在する。

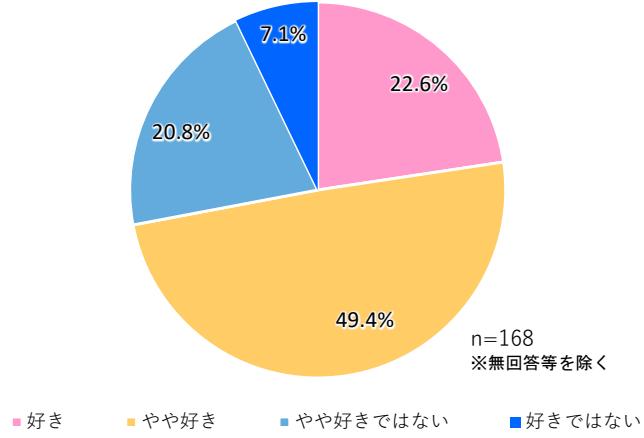
【グラフ】



問2-1-2 あなたは、今の自分自身が好きですか。(1つを選択)

- 回答者のうち 71.0%が自分自身が好きもしくはやや好きな傾向にある。
- 一方で、自分自身が好きではない傾向にある回答者が全体の 27.9%に上る。

【グラフ】

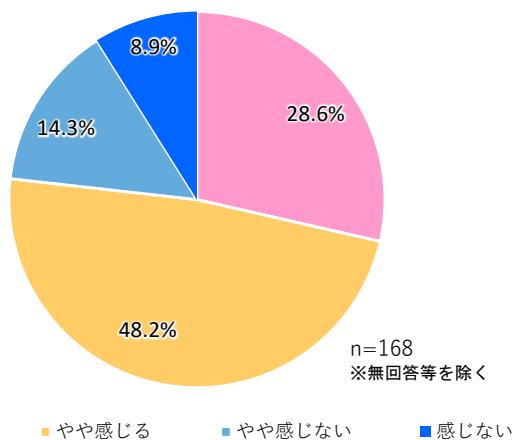


問 2-1-3 あなたは、自分自身が社会を生きていくための社会的スキルを身につけられていると感じますか。(1つを選択)

※社会的スキル：相手の気持ちを考えて行動したり、自分自身の思いを伝えたりすることのできるコミュニケーション能力。

- 回答者のうち 76.8%が社会を生きていくための社会的スキルを身につけられていると感じている傾向にある。
- 一方で、社会的スキルが身につけられていると感じない回答が全体の 23.2%に上る。

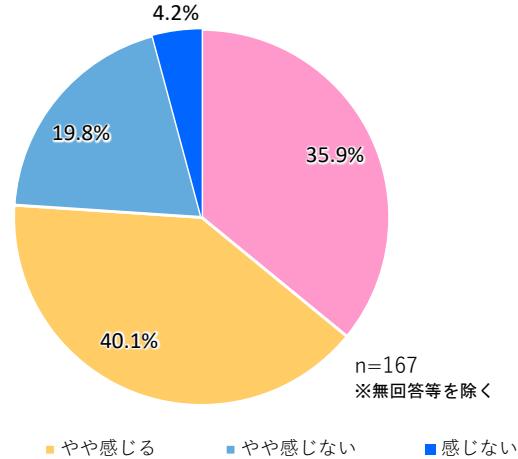
【グラフ】



問 2-1-4 あなたは、自分には自分らしさがあると感じますか。(1つを選択)

- 回答者のうち 76.0%が自分らしさがあると感じている。
- 一方で、自分らしさがあると感じられないとの回答が、全体の 24.0%に上る。

【グラフ】

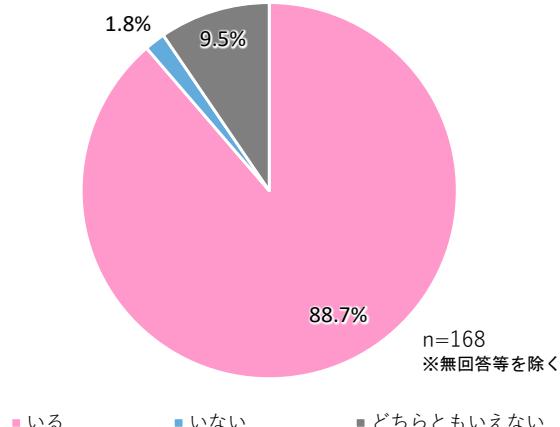


問 2-1-5 あなたは、自分が困ったときに、親や周りの人など助けてくれる人がいますか。(1つを選択)

○回答者の 88.7%が自分自身が困ったときに助けてくれる人が周りにいると回答した。

○一方で、どちらともいえないと回答した割合が 9.5%存在する。。

【グラフ】

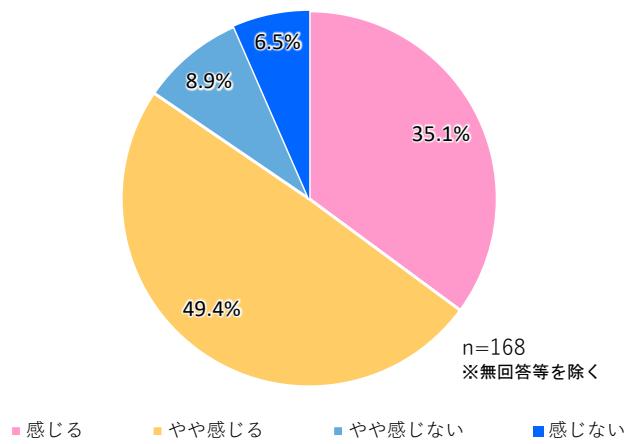


問 2-1-6 あなたは、社会で日常を過ごすなかで、問題なく円滑に生活できていると感じますか。(1つを選択)

○回答者の 84.5%が社会で円滑に生活できていると認識している。

○回答者のうち、社会で日常を過ごすなかで問題なく円滑に生活できているとは感じていない割合が全体の 15.4%を占めている。

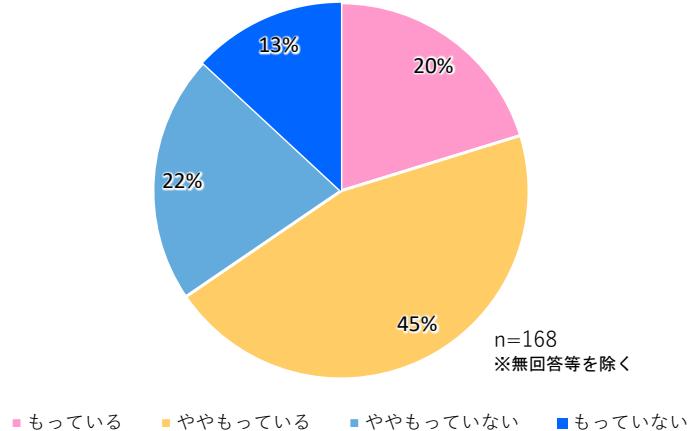
【グラフ】



問 2-1-7 あなたは、自分自身の将来に明るい希望をもっていますか。(1つを選択)

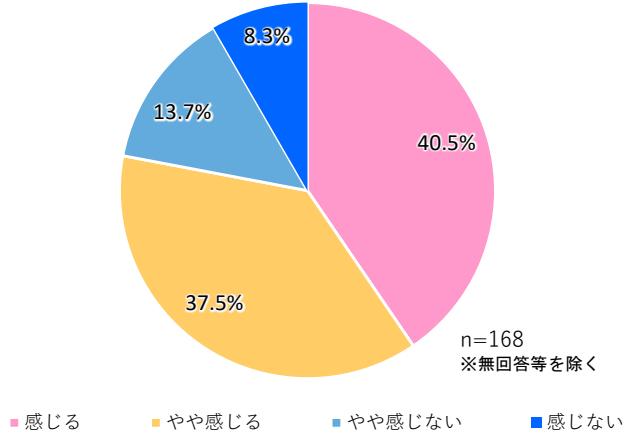
○回答者のうち、自分自身の将来に明るい希望をもっていると回答した人の割合は全体の 20%程度に留まっている。一方で、希望をもっていないと回答した人の割合が約 10%強存在しており、「ややもっていない」と回答した人と合わせると全体の 30%以上にのぼる。

【グラフ】

問 2-1-8 あなたは、自分が子育てをする立場になったとき、子どもの世話や看護について頼れる人がいると感じますか。(1つを選択)

○回答者のうち、自分が子育てをする立場になったとき、子どもの世話や看護について頼れる人がいると感じる人の割合は、全体の 78.0%に上る。

【グラフ】

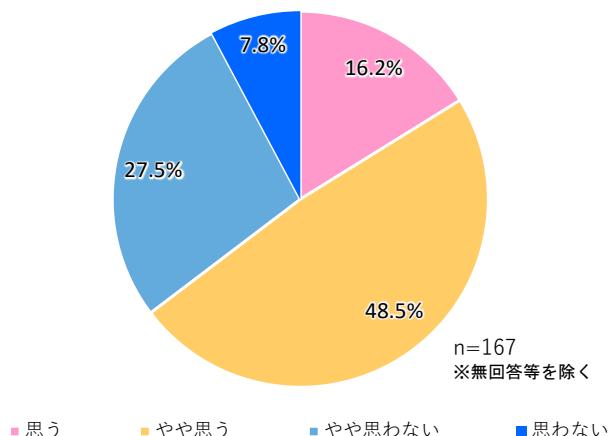


問 2-2-1 あなたは、見附市が「こどもまんなか社会」の実現に向かっている都市だと思いますか。(1つを選択)

※こどもまんなか社会：こどもや子育て中の方々が気兼ねなく様々制度やサービスを利用できるよう、地域社会、企業など様々な場で、年齢、性別を問わず、全ての人がこどもや子育て中の方々を応援するといった社会。

○回答者のうち、見附市が「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると感じる傾向にある回答者は全体の 64.7%程度となっている。

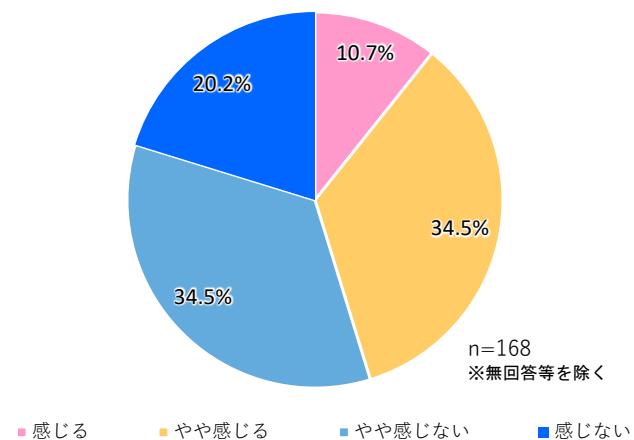
【グラフ】



問 2-2-3 あなたは、見附市の取り組む各種こども政策に関して、自分自身の意見が聴いてもらえていると感じますか。(1つを選択)

○回答者のうち、見附市の取り組む各種こども施策に自分の意見が聴いてもらえていると感じる傾向にある回答者は全体の 45.2%となっている。一方で、感じないと答えた回答者は全体の 20.2%に上る。

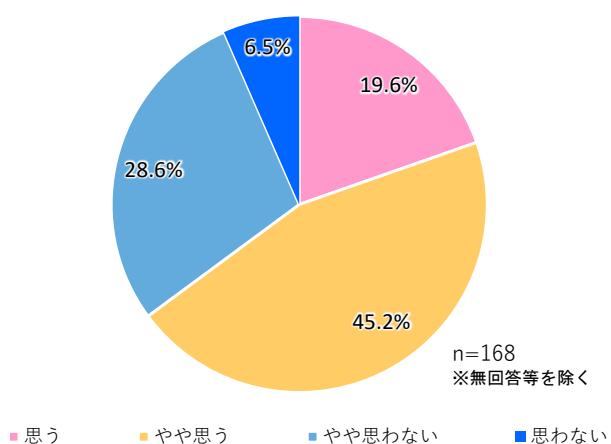
【グラフ】



問 2-2-4 あなたは、見附市の将来は明るいものであると思いますか。(1つを選択)

○回答者のうち、見附市の将来が明るいものであると思う傾向にある回答者は全体の 64.8%となっている。

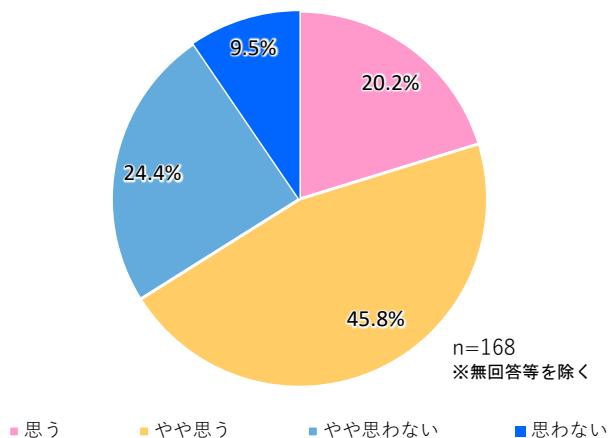
【グラフ】



問 2-2-5 あなたは、見附市が「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会」の実現に向かって取り組んでいる都市だと思いますか。(1つを選択)

- 全体の 66.0%が肯定的に捉えている。
- 一方で、見附市が「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会」の実現に取り組んでいると思わない傾向にある回答者は全体の 33.9%となっている。

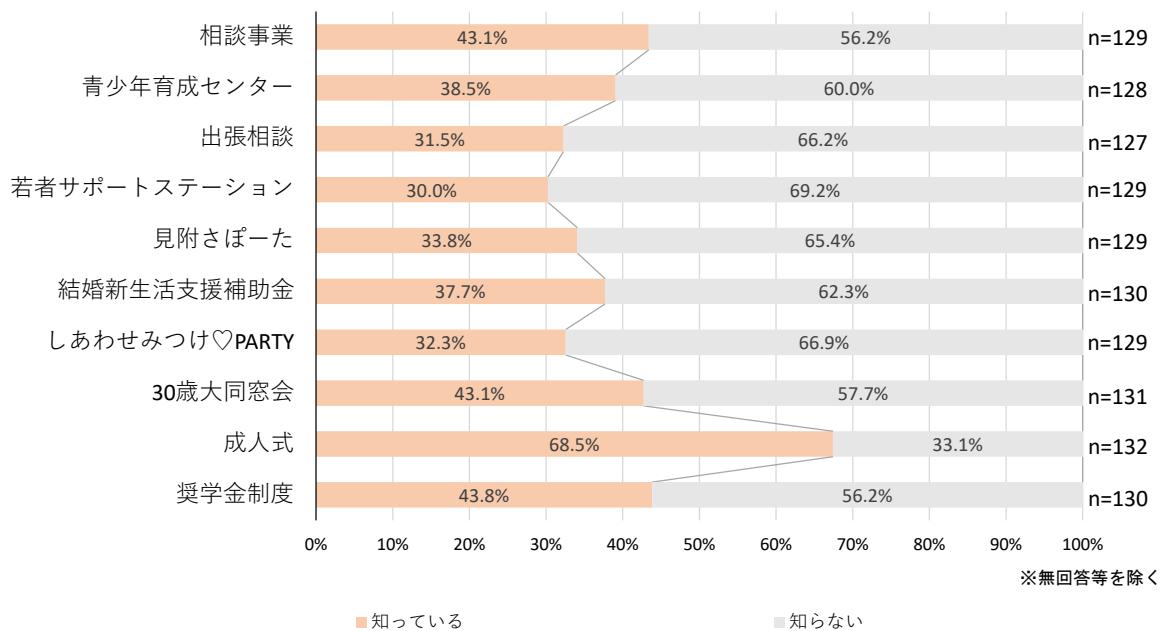
【グラフ】



問2-2-7 表記の子ども・若者施策について知っていますか。施策に対する満足度と併せて教えてください。(施策ごとに1つ選択)

- 全体の傾向として、「成人式」を除くいずれの施策もおおむね 50%以上の回答者が事業内容を知らないと回答している。
- 特に「若者サポートステーション」や「しあわせみつけ♡PARTY」の施策で事業内容を知らないと答えた回答者の割合が高く、それぞれ 69.2%、66.9%に上る。

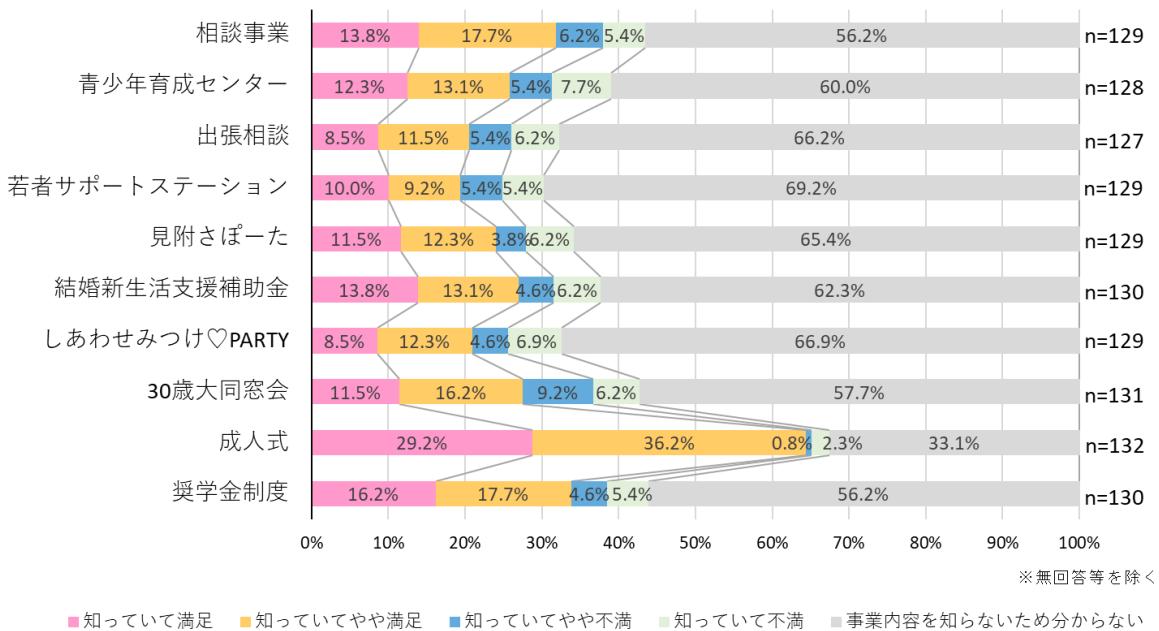
【グラフ1】



○施策の中では、特に「成人式」の満足度が高く、事業内容を知っていると答えた回答者のうち、95.5%が満足する傾向にあると回答している。

○「成人式」を除く施策はおおむね、満足する傾向にある回答者が全体の65%～80%程度で、不満を持つ回答者が全体の20%程度となっており施策による割合の大きな変動は見られない。

【グラフ2】

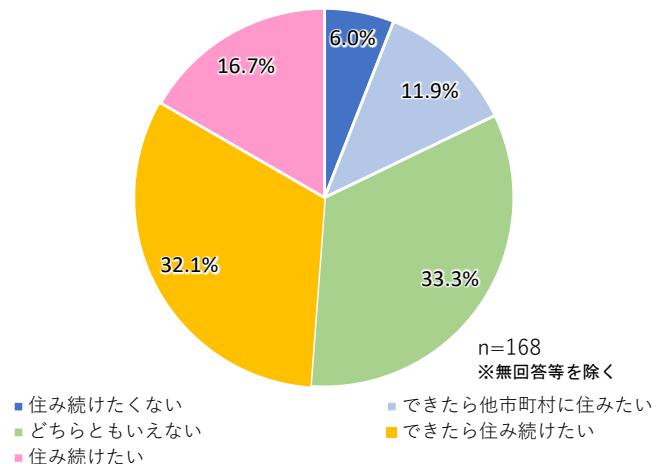


問 2-2-8 あなたは今後、見附市に住み続けたいと思いますか。(1つを選択)

○48.8%が見附市に住み続けたいもしくはできたら住み続けたいと回答した。

一方で、どちらともいえないとの回答が 33.3%存在する。

【グラフ】

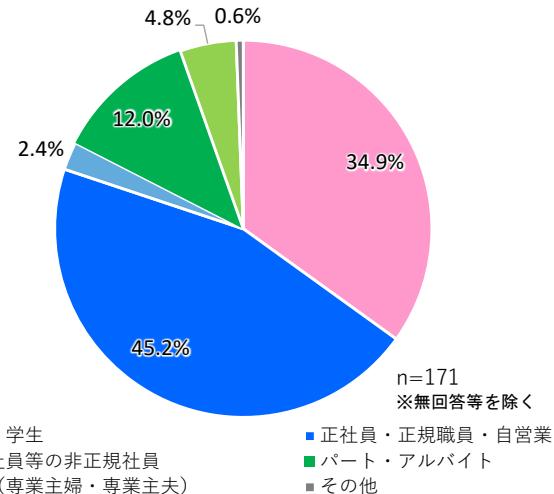


問3 回答者の仕事について

問3-1 あなたの、現在の仕事の状況を教えてください。(1つを選択)

- 回答者のうち、正社員・正規職員・自営業の割合が最も高く、45.2%であった。
- 学生の回答者は全体の34.9%程度となっている。

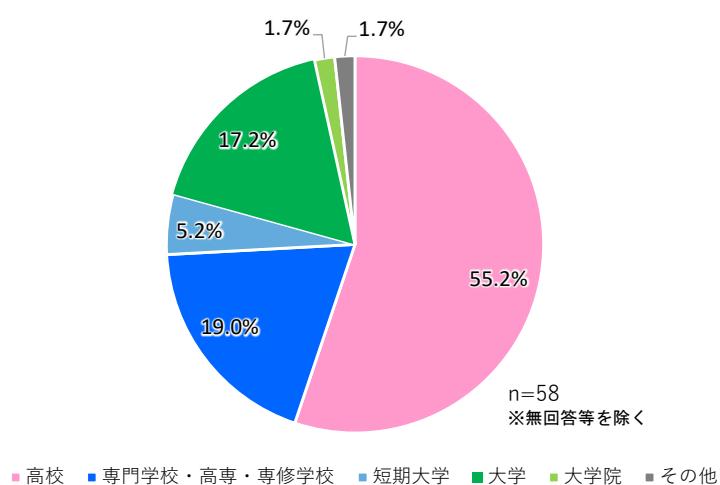
【グラフ】



問3-2 現在、あなたが在学している学校はどれですか。(1つを選択)

- 学生の回答者のうち、55.2%の回答者が高校在学生であり、ついで専門学校等や大学に在学している学生が全体の19.0%の割合を占めている。

【グラフ】

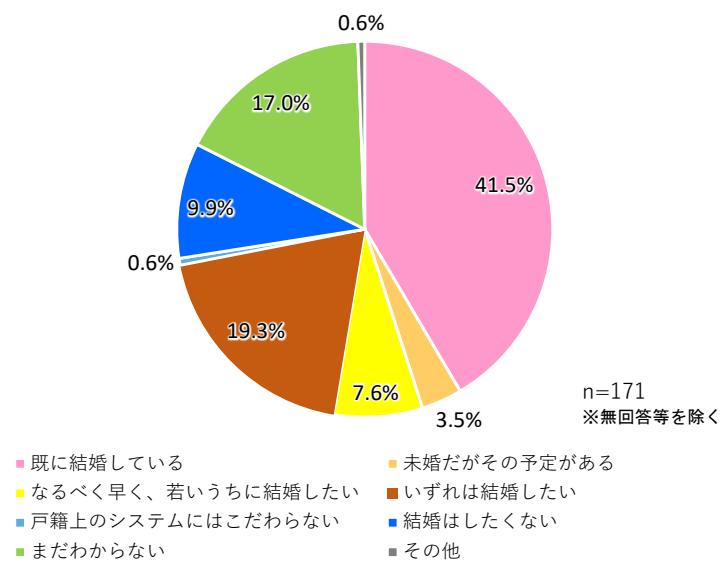


問4 回答者の結婚や恋愛について

問4-1 結婚についてあなたの状況や考え方を聞かせてください。(1つを選択)

- 回答者のうち約40%は既婚者である。
- 結婚に前向きな回答者の割合は既婚を除いて約30%程度となっており、既婚者と合わせると、全体の約70%程度を占める。
- 一方で、結婚はしたくないまたは戸籍上のシステムにこだわらないと回答した人の割合が10.5%となっている。

【グラフ】

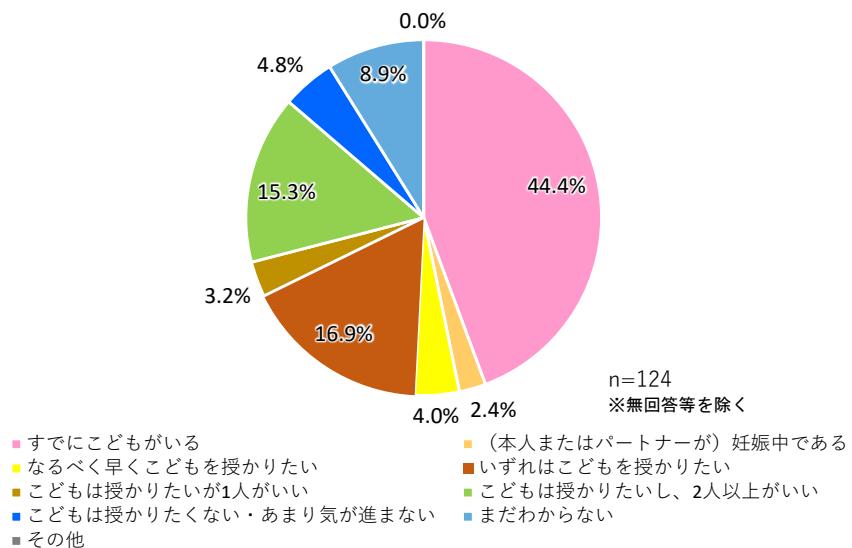


問 4-2 こどもを授かることについてのあなたの状況や考え方を教えてください。

(1つを選択)

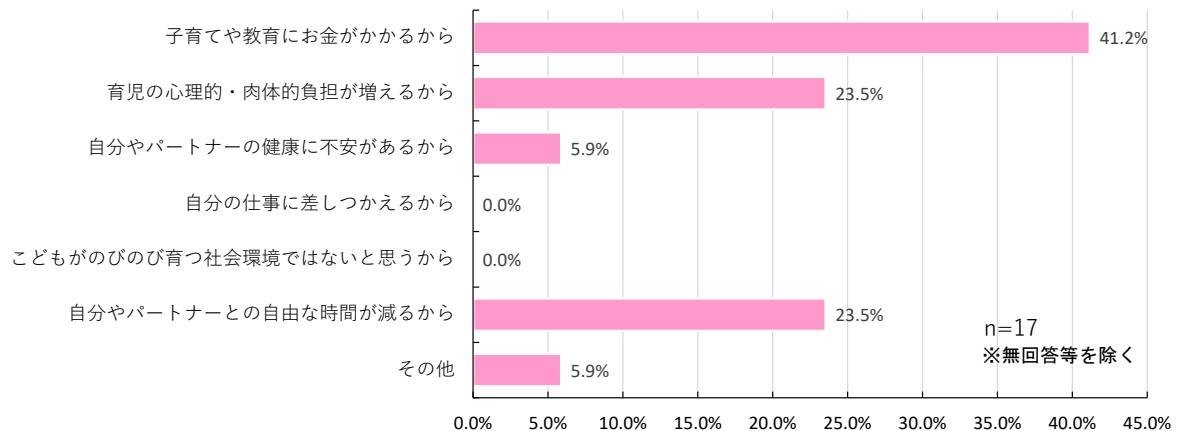
- 回答者のうち約半数は妊娠中かすでにこどもがいる子育て世代となっている。
- こどもを授かることに前向きな回答者の割合は、妊娠中かすでにこどもがいるとの回答を除いて 39.4% となっている。

【グラフ】



問4-3 その理由をお答えください。(あてはまるものをすべて選択)

○こどもを授かりたくない・気が進まないと回答した人について、理由として「子育てや教育にお金がかかるから」という回答 41.2% と最も多かった。次いで、「育児の心理的・肉体的負担が増えるから」や「自分やパートナーとの自由な時間が減るから」といった回答がみられた。

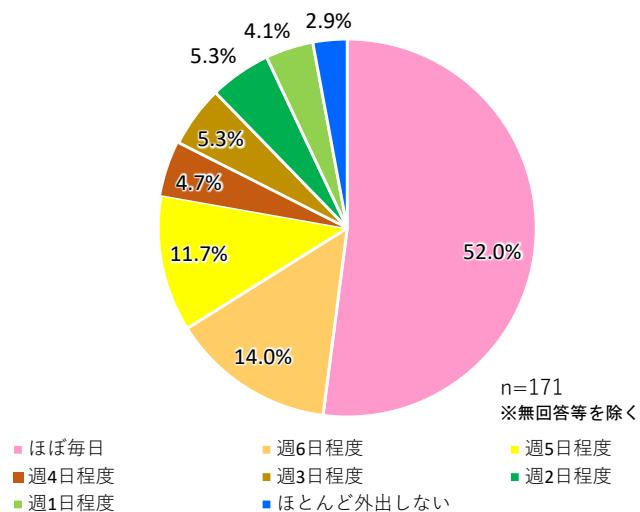
【グラフ】

問5 回答者の外出について

問 5-1 あなたの、現在の 1 週間当たりでの合計の外出頻度を教えてください。(1つを選択) ※仕事やプライベート等の目的は問いません。

○回答者のうち、52.0%が 1 週間あたりほぼ毎日外出していると回答している。

【グラフ】

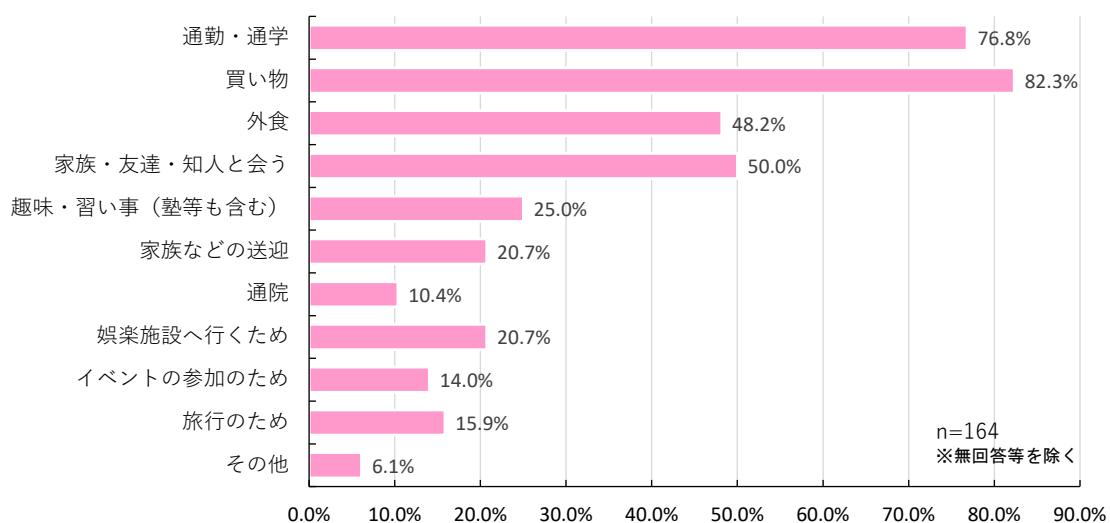


問 5-2 外出している目的を教えてください。(あてはまるものをすべて選択)

○外出の目的については、通勤通学及び、買い物である割合が最も高く、それぞれ全体の 82.3%、76.8%を占めている。

○次いで、外食や家族・友達・知人と会うとの回答が多い。

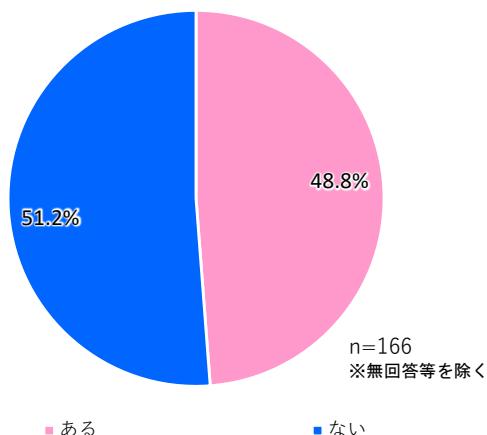
【グラフ】



問5-3 現在の外出のほかに、あきらめている外出はありますか。

※あきらめている外出：経済的問題や移動手段の有無等により、行きたくても行けない外出のこと

○回答者の約半数が、現在の外出の他にあきらめている外出があると回答している。この要因については、問5-4にて明らかにしている。

【グラフ】

問5-4 どのような外出について、現在はあきらめてしまっていますか。よろしければ理由とともに教えてください。

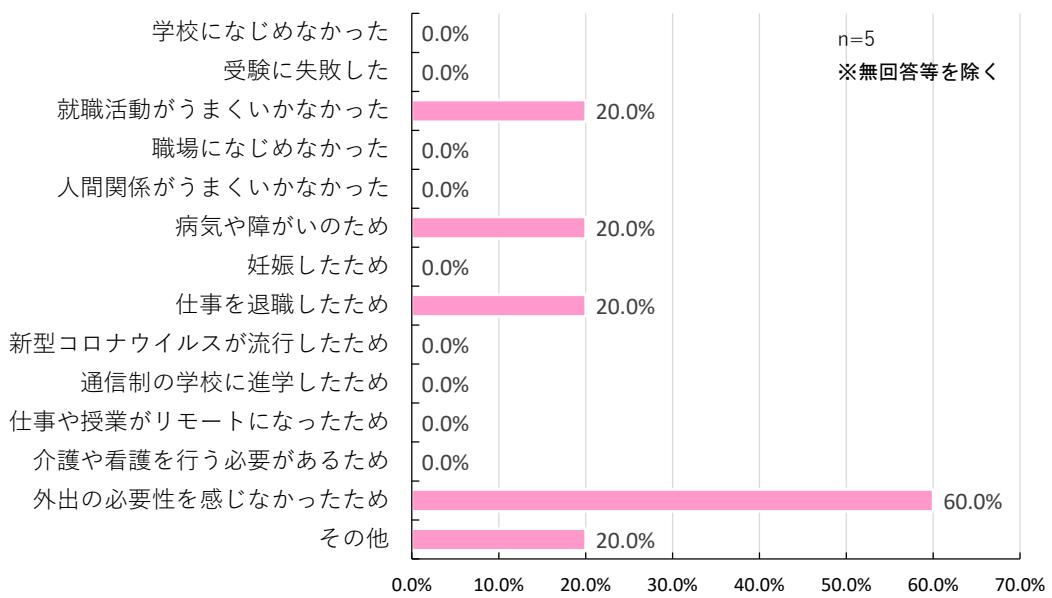
【表】

No.	年齢	自由記述
1	16	お金がかかるから
2	16	買い物
3	16	遠距離の外出
4	16	遠出するお金や時間がない
5	16	駅まで遠いのでバイトなどが自由な時間に行くのが難しい
6	16	近くに楽しめる所がないから
7	17	就職の試験のためのフィールド調査
8	17	車やお金が無いので遠出などは諦めています
9	18	宿泊費が高くなっているので
10	18	旅行などでお金がかかってしまって諦める
11	18	金銭面
12	19	新幹線代が高いから東京に行くことを控えている
13	20	自分の車がない為車でしか行くことが出来ない場所に行くとき
14	20	旅行を諦めている
15	20	旅行
16	22	交通手段がないとき
17	24	新幹線や飛行機で乗り換え無しで行けない他県に行きたい時
18	25	旅行や関東圏でのイベント 休みが無いため
19	26	金銭的理由で旅行をあきらめる
20	28	旅行
21	29	美容院や整骨院。子供がまだ小さく誰かにみてもらうにも旦那は1人で見るには時間的にも限界があり親は市外で土日休みなため、ゆっくりと2-3時間1人で行くには厳しいため
22	29	旅行
23	30	県外への旅行
24	30	趣味
25	30	子供と遊びに行ける場所が少ない お金がかかる
26	30	妻の実家へ帰りたい（3県となりの為なかなか難しい
27	30	県内の遠出
28	30	金銭的な問題で宿泊を伴う旅行が厳しい
29	31	子供の預け先がない、経済面に余裕が無い
30	31	子供の世話、ペットの世話
31	31	子供連れでは難しい外食
32	32	娯楽や旅行
33	32	子どもが小さいので、出産前よく参加していたワークショップなどの参加、おしゃれなカフェめぐり ふらっと夫婦や家族で飲みに行くこと（子どもがいると車の移動が便利なため）
34	32	子どもが小さいため、遠い他県には行けない。子どもが参加できないイベントには行けない。
35	32	天候が悪いと外出をためらうことがある。
36	33	旅行(子供がまだ小さいため)
37	33	子供と旅行、金銭的に余裕がありません
38	34	金銭的な問題で、旅行や観光などは控えている
39	34	子供がいるので遠出
40	34	旅行、生活用品以外の買い物、娯楽目的の外出等、経済的理由にて実施できていない。
41	34	実家への帰省や旅行など、交通費もかかるため。
42	34	金銭問題とか体調不良等
43	35	大規模テーマパークへは移動も長いし、費用も高い
44	35	県外などは小さい子どもがいるので、長距離長時間の移動は難しい
45	36	子育て
46	36	バスが少ないためなかなか出かけづらい、同居嫁のため立場がない
47	36	海外
48	36	お金がかかる所、イベントには行かない。行けない。
49	36	友人との会食
50	37	旅行→経済的に。 外食→子供が小さい
51	37	遠方への研修会参加。子供が小さいため。
52	37	子供と遊ぶ場所がなかなかなく、雪や雨で断念。また隣の市とか行かないといけないから、子供準備できて出発したら、時間的に遅くなり断念する時もあります。
53	38	県内とは言え若干遠目の場所までの外出。
54	38	旅行 金銭の問題や時間の問題
55	38	友達と会うなど
56	39	経済的に余裕がない。
57	39	すべての外出。産後寝不足のため
58	39	旅行

問 5-5 あなたの外出状況が現在の状態になったきっかけは何ですか。（あてはまるものすべて選択）

○問 5-1 で外出をほとんどしないと回答した人を対象に、その理由を聞いていく。

【グラフ】

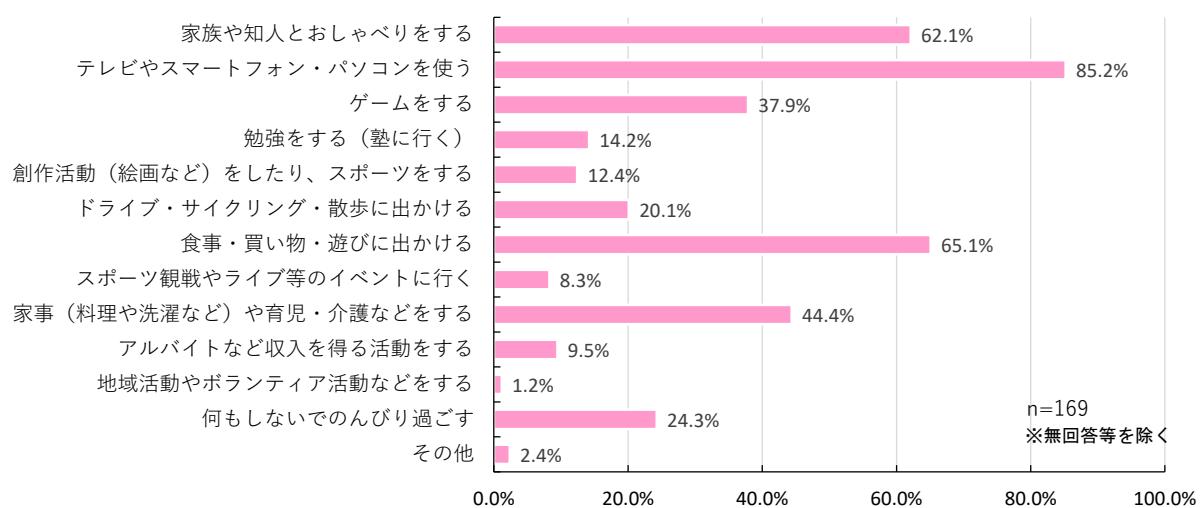


問6 回答者の生活状況や安心できる居場所について

問 6-1 あなたは学校や仕事以外の時間をどのように過ごしていますか。(上位 5 つまで選択)

- 学校や仕事以外の時間の過ごし方について、テレビやスマートフォン・パソコンを使うとの回答が多く、次いで家族や知人とのおしゃべりや食事・買い物・遊びとの回答が多い。

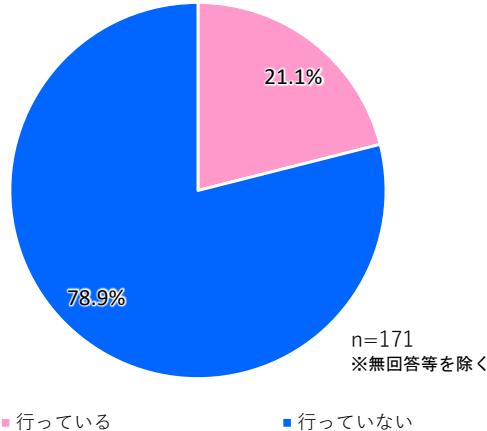
【グラフ】



問 6-2 あなたは学校や仕事以外の時間に、兄弟姉妹や祖父母等の家族の世話をしていますか。(1 つを選択)

- 学校や仕事以外で兄弟姉妹や祖父母等の家族の世話をを行っていると回答した若者は、全体の 21.1% となっている。

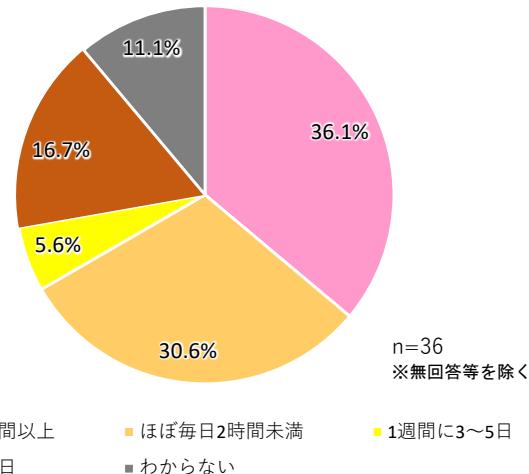
【グラフ】



問 6-3 どのくらいの頻度ですか。(1つを選択)

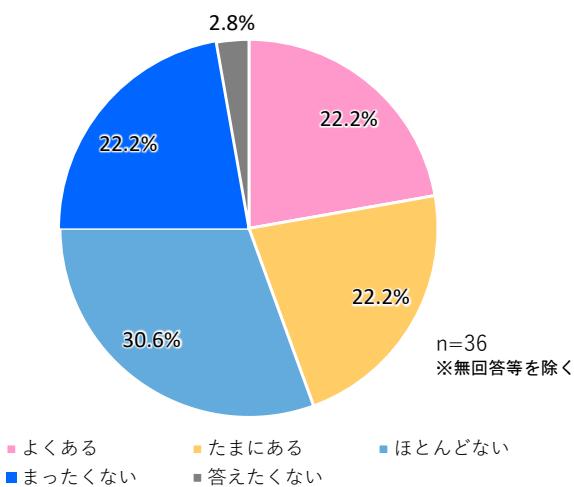
○問 6-2 にて、学校や仕事以外で兄弟姉妹や祖父母等の家族の世話を行っていると回答した若者のうち、36.1%の回答者がほぼ毎日2時間以上行っていると回答しており、ほぼ毎日2時間未満行っているとの回答と合わせると、全体の66.7%の回答者が、ほぼ毎日行っているとの回答であった。

【グラフ】

問 6-4 そのことが理由で、あなたは悩んだり、困ったりすることありますか。(1つを選択)

○問 6-2 にて、学校や仕事以外で兄弟姉妹や祖父母等の家族の世話を行っていると回答した子ども・若者のうち、44.4%がよくあるもしくはたまにあるに傾向にある。一方で、ほとんどないやまったくないと回答する人の割合が52.8%で僅かに高い。

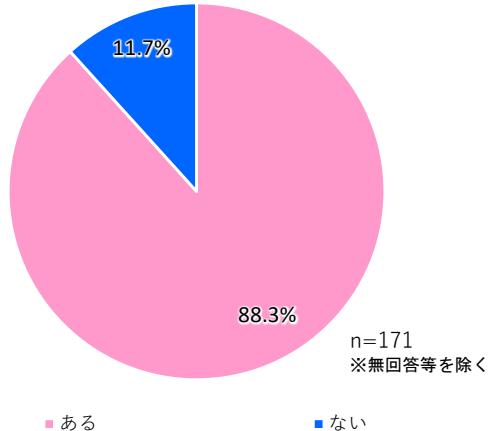
【グラフ】



問 6-5 あなたには現在、ホッとでき安心していられる居場所がありますか。(1つを選択)

○回答者のうち、88.3%の割合で、現在ホッとでき安心していられる居場所があると回答している。一方で、11.7%の割合でその居場所がないと回答している。

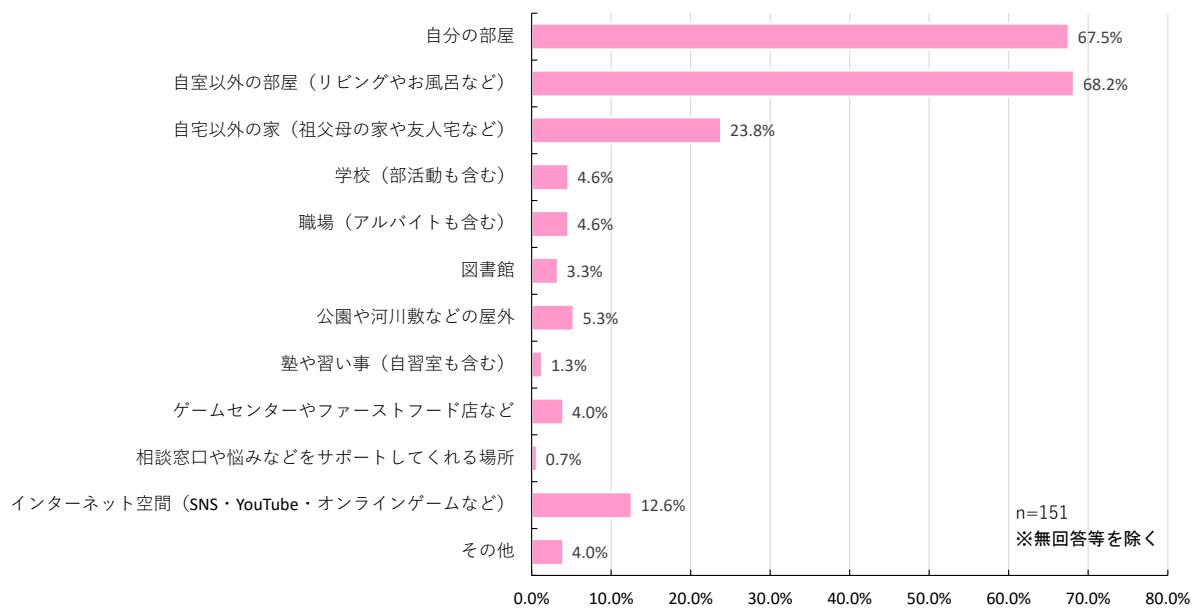
【グラフ】



問 6-6 ホッとでき、安心できる居場所はどこですか。(あてはまるものすべて選択)

○ホッとでき、安心できる居場所について、自分の部屋や自室以外の部屋との回答が 67.5%、68.2% となった。

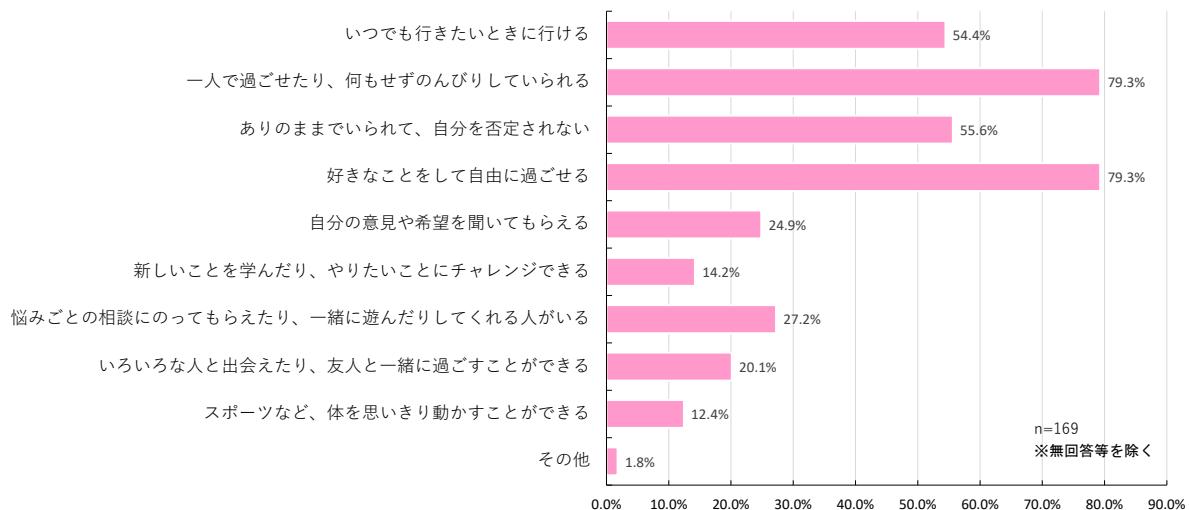
【グラフ】



問 6-7 ホッとでき、安心できる居場所に必要なことは何ですか。（あてはまるものすべて選択）

○ホッとでき、安心できる居場所に必要なことについて、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりしていられる」「好きなことをして自由に過ごせる」の回答がいずれも 79.3% であった。

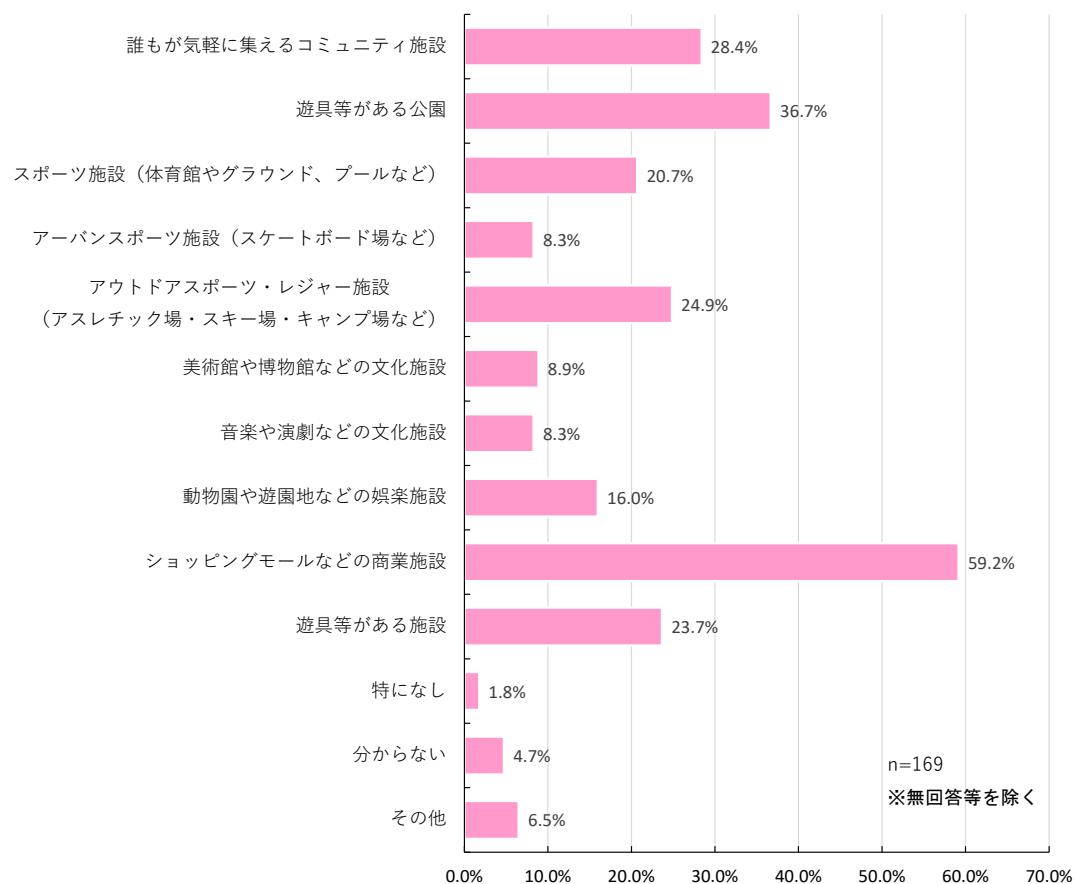
【グラフ】



問6-8 子どもが遊びやすく親が子育てのしやすい街に向けて、今後見附市にほしい子ども・子育て施設はありますか。(上位3施設まで)

○今後見附市にほしい子ども・子育て施設について、ショッピングモールなどの商業施設との回答が最も多く、次いで遊具等のある公園や誰もが気軽に集えるコミュニティ施設となっている。

【グラフ】

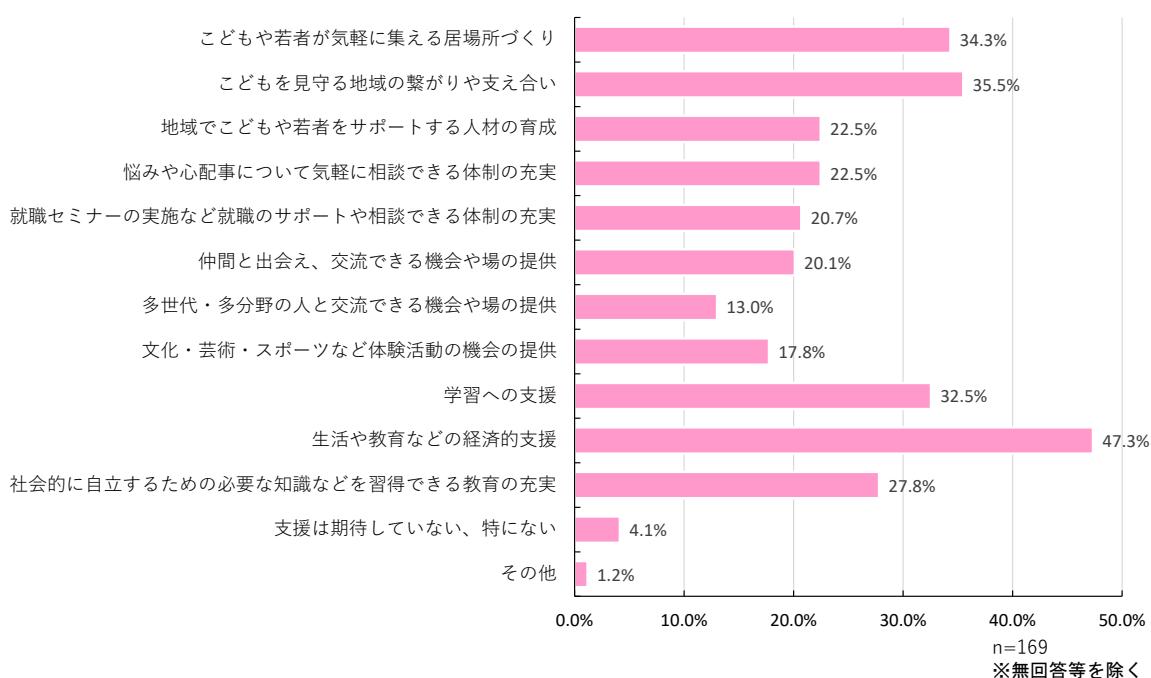


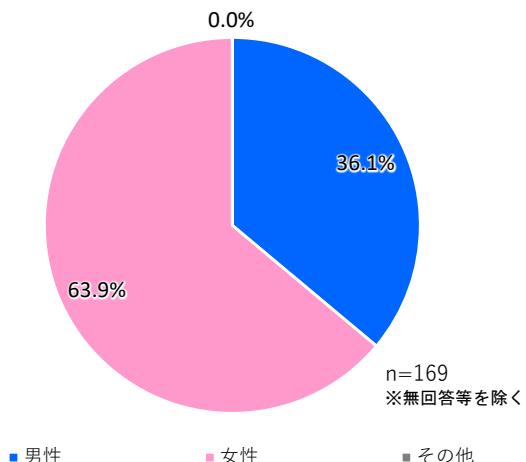
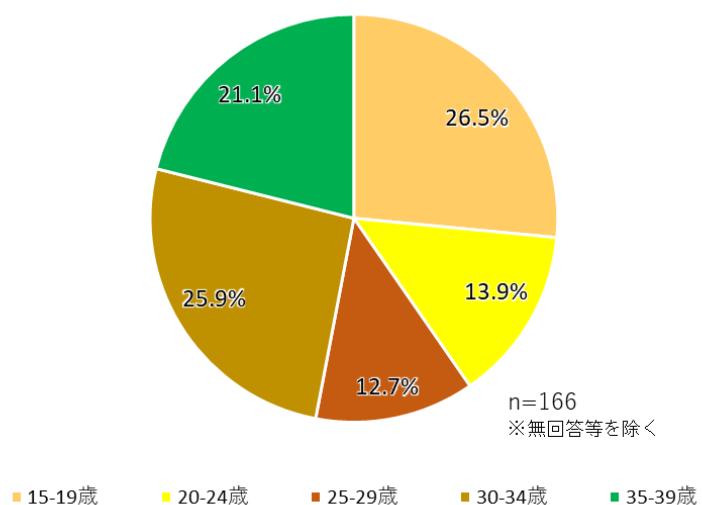
問7 困りごとについて

問 7-1 こども・若者に対してどのような支援があるといいと思いますか。(あてはまるものすべて選択)

- こども・若者に対しての支援について、生活や教育などの経済的支援が最も多く、経済支援の重要性が見て取れる。
- 一方で、こどもや若者が気軽に集える居場所づくりやこどもを見守る地域の繋がりや支え合いとの回答が次いで多く、若者が地域コミュニティや共助体制の重要性を認識している。

【グラフ】

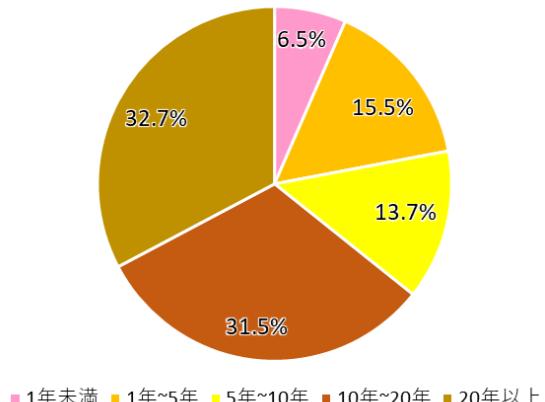


問9 回答者自身の基本情報問9-1 あなたの性別を教えてください。(1つを選択)**【グラフ】**問9-2 あなたの年齢をご入力ください。※今年度末（2024年3月31日）時点での年齢を教えてください。**【グラフ】**

問9-4 現在、あなたは見附市で何年間ぐらい過ごしていますか。(1つを選択)

○回答者の 64.2%が 10 年以上見附市で過ごしていた。次いで 1 年～10 年と回答する割合が 29.2% 存在する。一方で、1 年未満と回答する割合が全体の 6.5% である。

【グラフ】

問9-5 現在、あなたの家での暮らし（衣・食・住・レジャーなどの経済的な生活水準）は世間一般と比べてどの程度だと思いますか。あなたの実感を教えてください。

【グラフ】

